

# 2018年度第3四半期決算(日本基準)について

2019年2月6日  
新日鐵住金株

## <損益実績(連結)>

	2018 3/四累計	上期			2017 3/四累計	'17.3/四累計 → '18.3/四累計
			2/四	3/四		
売上高	45,191	29,034	14,625	16,156	41,645	+ 3,546
経常利益 [ROS]	2,532 [5.6%]	1,515 [5.2%]	638 [4.4%]	1,017 [6.3%]	2,254 [5.4%]	※1 + 278 [+0.2%]
特別損益	79	77	▲ 25	2	124	※2 - 45
親会社株主に帰属する 当期純利益 <1株当たり当期純利益> [ROE]*1	2,316 < 262.4 > [9.9%]	1,412 < 160.1 > [8.9%]	449 < 50.9 > [5.7%]	903 < 102.4 > [11.5%]	1,560 < 176.8 > [6.8%]	+ 756 < + 85.6 > [+3.1%]
E B I T D A *2	5,473	3,444	1,609	2,029	4,930	+ 543
有利子負債 D/Eレシオ	23,775 0.77				21,528 0.68	+ 2,247 +0.09

\*1 年率換算 \*2 経常利益 + 負担金利 + 減価償却費

## ※1 連結経常利益差異の内訳

(単位:億円)  
'17.3/四累計  
→'18.3/四累計

連結経常利益 差異	+280
<b>1. 製鉄事業</b>	<b>+230</b>
① 生産出荷	+130
② 販売価格・構成	+1,440
③ 原料価格(キャリーオーバー含む)	-740
④ コスト改善	+440
⑤ 在庫評価差	-290
⑥ グループ会社	-120
⑦ 為替影響(ストック、フロー)	+30
⑧ 豪雨、台風、地震影響	-350
⑨ その他	-310
<b>2. 鉄以外セグメント</b>	<b>+100</b>
<b>3. 調整額</b>	<b>-50</b>

## ※2 特別損益内訳

(単位:億円)

	2018 3/四累計	2017 3/四累計	'17.3/四累計 →'18.3/四累計
特別損益合計	79	124	- 45
投資有価証券売却益	303	245	+ 58
設備休止関連損失		▲ 59	+ 59
災害損失	▲ 223		- 223
事業再編損		▲ 62	+ 62

## <諸元>

### (1) 当社

	2018 3/四累計	上期			2017 3/四累計	'17.3/四累計 → '18.3/四累計
			2/四	3/四		
連結粗鋼生産量(万t)	3,579	2,365	1,176	1,213	3,495	+ 84
単独粗鋼生産量(万t)*1	3,078	2,050	1,021	1,029	3,017	+ 61
鋼材出荷量(万t)*1	2,849	1,856	899	992	2,812	+ 37
鋼材価格(千円/t)*1 為替(円/\$)	89.6 111	88.7 109	90.2 111	91.5 113	84.3 112	+ 5.3 1円高

\*1 2017年度は日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

### (2) 全国

	2018 3/四累計	上期			2017 3/四累計	'17.3/四累計 → '18.3/四累計
			2/四	3/四		
粗鋼生産量(万t)	7,792	5,222	2,565	2,570	7,843	- 51
鋼材消費(万t)*2 (うち 製造業)	4,716 ( 3,033)	3,089 ( 1,993)	1,558 ( 997)	1,627 ( 1,040)	4,709 ( 3,015)	+ 7 (+ 18)
< 製造業比率 >	< 64.3% >	< 64.5% >	< 64.0% >	< 63.9% >	< 64.0% >	< + 0.3% >
普通鋼材消費(万t)	3,722	2,434	1,229	1,288	3,722	- 0
建設	1,622	1,057	540	565	1,633	- 10
製造業	2,100	1,377	689	723	2,090	+ 10
特殊鋼材消費(万t)	994	656	329	338	986	+ 8
国内メーカー問屋在庫(万t)	*3 571	623	623	571	567	+ 5
薄板三品在庫(万t)	*3 417	440	440	417	404	+ 13

\*2 当社推定値 \*3 12月末(速報)

## <セグメント情報>

	2018 3/四累計	上期			2017 3/四累計	'17.3/四累計 → '18.3/四累計
			2/四	3/四		
売上高	45,191	29,034	14,625	16,156	41,645	+ 3,546
製鉄	39,870	25,570	12,736	14,299	36,998	+ 2,872
エンジニアリング	2,537	1,613	910	924	2,052	+ 485
ケミカル & マテリアル	1,910	1,259	659	651	1,794	+ 116
システムソリューション	1,872	1,246	662	626	1,682	+ 190
調整額	▲ 1,001	▲ 655	▲ 343	▲ 345	▲ 883	- 118
経常利益	2,532	1,515	638	1,017	2,254	+ 278
製鉄	2,125	1,266	449	858	1,897	+ 228
エンジニアリング	52	29	32	23	48	+ 4
ケミカル & マテリアル	206	138	73	68	145	+ 61
システムソリューション	180	115	62	65	147	+ 33
調整額	▲ 31	▲ 33	19	2	15	- 46

(次ページにつづく)

# 2018年度業績見通し(IFRS)について

2019年2月6日  
新日鐵住金株

## <損益見通し(連結)>

	'18年度 見通し	'18年度		'18上期→ '18下見		'17年度	'17年度→ '18年度見	'18年度見 (11/2公表)	
		上期	下見	3/四	4/四見				
売上収益	62,000	29,400	32,600	16,300	16,300	+ 3,200	57,129	+ 4,871	62,000
事業利益※1 [ROS]	3,300 [5.3%]	1,580 [5.4%]	1,720 [5.3%]	1,020 [6.3%]	700 [4.3%]	※3 + 140 [-0.1%]	2,887 [5.1%]	※4 + 413 [+0.3%]	3,500 [5.6%]
親会社の所有者に 帰属する当期利益 <1株当たり当期利益>	2,300 <258.0>	1,170 <132.6>	1,130 <125.4>	830 <94.0>	300 <32.9>	- 40 <-7.1>	1,808 <204.9>	+ 492 <+53.1>	2,400 <269.0>
EBITDA※2	7,500	3,580	3,920	2,020	1,900	+ 340	6,553	+ 947	7,800

(注) 2018年度上期実績及び年度見通しについては、当社が2019年3月期より国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することを決定したため、IFRSに基づく試算値を記載しております。

(※1) 事業利益とは、持続的な事業活動の成果を表し、当社グループの業績を継続的に比較・評価することに資する連結経営業績の代表的指標であり、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費、及びその他費用を控除し、持分法による投資利益及びその他収益を加えたものであります。その他収益及びその他費用は、受取配当金、為替差損益、固定資産除却損等から構成されております。

(※2) 事業利益 + 減価償却費

<諸元>

(1) 当社

連結粗鋼生産量(万t)	4,820程度	2,365	2,450程度	1,213	1,240程度	+ 85程度	4,702	+ 118程度	4,900程度
単独粗鋼生産量(万t)*1	4,130程度	2,050	2,080程度	1,029	1,050程度	+ 30程度	4,067	+ 63程度	4,210程度
鋼材出荷量(万t)*1	3,810程度	1,856	1,960程度	992	970程度	+ 104程度	3,779	+ 31程度	3,850程度
鋼材価格(千円/t)*1	89程度	88.7	90程度	91.5	90程度	+ 1程度	84.7	+ 4程度	89程度
為替(円/\$)	111程度	109	112程度	113	110程度	3程度円安	111	-	110程度

\*1 2017年度は日鉄住金鋼鉄和歌山を含む

(2) 全国

粗鋼生産量(万t)*2	10,423程度	5,222	5,201程度	2,570	2,631程度	- 21程度	10,484	- 61程度	
鋼材消費(万t)*3	6,320	3,089	3,231	1,627	1,604	+ 142	6,289	+ 32	6,308
(うち製造業)	(4,071)	(1,993)	(2,078)	(1,040)	(1,038)	(+ 86)	(4,040)	(+ 31)	(4,042)
<製造業比率>	<64.4%>	<64.5%>	<64.3%>	<63.9%>	<64.7%>	<- 0.2%>	<64.2%>	<+ 0.2%>	<64.1%>
普通鋼鋼材消費(万t)	4,996	2,434	2,562	1,288	1,274	+ 129	4,974	+ 21	4,998
建設	2,167	1,057	1,110	565	545	+ 54	2,167	+ 1	2,177
製造業	2,829	1,377	1,452	723	729	+ 75	2,808	+ 21	2,822
特殊鋼鋼材消費(万t)	1,324	656	669	338	330	+ 13	1,314	+ 10	1,310

\*2 経済産業省見通し \*3 当社推定値

## <セグメント情報>

(単位:億円)									
売上収益	62,000	29,400	32,600	16,300	16,300	+ 3,200	57,129	+ 4,871	62,000
製鉄	55,000	25,900	29,100	14,500	14,600	+ 3,200	50,615	+ 4,385	55,000
エンジニアリング	3,600	1,610	1,990	890	1,100	+ 380	2,942	+ 658	3,500
ケミカル&マテリアル	2,500	1,260	1,240	640	600	- 20	2,377	+ 123	2,600
システムソリューション	2,580	1,250	1,330	650	680	+ 80	2,442	+ 138	2,580
調整額	▲ 1,680	▲ 620	▲ 1,060	▲ 380	▲ 680	- 440	▲ 1,248	- 432	▲ 1,680
事業利益	3,300	1,580	1,720	1,020	700	+ 140	2,887	+ 413	3,500
製鉄	2,800	1,320	1,480	870	610	+ 160	2,368	+ 432	3,000
エンジニアリング	85	30	55	25	30	+ 25	91	- 6	85
ケミカル&マテリアル	220	130	90	70	20	- 40	173	+ 47	220
システムソリューション	240	115	125	60	65	+ 10	232	+ 8	245
調整額	▲ 45	▲ 15	▲ 30	▲ 5	▲ 25	- 15	20	- 65	▲ 50

(※3、4) 連結事業利益差異の内訳 2018上期 対前回 2017年度 (ご参考)日本基準-IFRS 18.3/四期累計 差異(試算)

(単位:億円) →2018下見

対前回

→2018年度見

連結事業利益 差異	+140	-200	+410	經常利益(日本基準)	2,532	当期利益(日本基準)	2,316
1. 製鉄事業	+160	-200	+430	差異	+70	差異	-310
① 生産出荷	+120	-190	+160	のれん非償却化	+70	投資有価証券関連	-210
② 販売価格・構成、原料価格	-90	-90	+690	退職給付関連等	-120	のれん非償却化	+70
③ コスト改善	~	~	+440	金融収支(事業損益外へ)	+120	退職給付関連等	-170
④ 在庫評価差	-200	+130	-270	事業利益(IFRS)	2,600	当期利益(IFRS)	2,000
⑤ グループ会社	-30	-30	-180				
⑥ 為替影響(スワップ)	-90	-30	+90				
⑦ 豪雨、台風、地震影響	+190	~	-350				
⑧ その他	+260	+10	-150				
2. 鉄以外セグメント	~	~	+50				
3. 調整額	-20	~	-70				

### 【剰余金の配当(期末)について】

当期末の剰余金の配当については、第2四半期決算発表時(2018年11月2日)では未定としておりましたが、既公表の配当方針に従い、当期の業績見通し等を踏まえ、1株につき40円とさせていただきます(年間配当金としては1株につき80円、連結配当性向(IFRSベース)31%程度)。

(注) 上記予想には本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

## 《参考》既公表案件について

### 新規設立、事業統合及び再編等に関する公表案件

#### ・既実行案件

時期	案件
2018年6月1日	(Ovako AB社の完全子会社化) 欧州特殊鋼メーカーOvako AB社の株式を100%取得
2018年12月27日	(日鉄住金物産(株)への日本鐵板株式の一部譲渡) 新日鐵住金(株)及び日新製鋼(株)が保有する日本鐵板株式の一部を日鉄住金物産(株)へ譲渡
2019年1月1日	(日新製鋼(株)の完全子会社化) 新日鐵住金(株)による日新製鋼(株)の株式交換による完全子会社化
2019年1月1日	(日鉄住金鋼板(株)による東海カラー(株)の子会社化) 日鉄住金鋼板(株)による東海カラー(株)の株式交換による完全子会社化

#### ・その他既公表案件

時期	案件
時期未定 ※ (2018年3月公表)	(インドにおけるエッサールスチールの共同買収及び合併事業化) 新日鐵住金(株)とアルセロールミタルによるエッサールスチールの共同買収及び合併事業化 ※インド会社法裁判所が再建計画審理中
2019年3月28日(予定) (2018年8月公表)	(新日鐵住金(株)による山陽特殊製鋼(株)の子会社化等) 新日鐵住金(株)による山陽特殊製鋼(株)の子会社化(2019.1月公正取引委員会の承認受領済み)及び、 新日鐵住金(株)から山陽特殊製鋼(株)に対するOvako AB社株式の全部の譲渡
2019年4月1日(予定) (2018年5月公表)	(新日鐵住金(株)、日新製鋼(株)及び新日鐵住金ステンレス(株)のステンレス鋼板事業の統合) 新日鐵住金(株)及び日新製鋼(株)のステンレス事業のうちの鋼板事業の新日鐵住金ステンレス(株)への承継
2019年4月1日(予定) (2018年8月公表)	(溶接ステンレス鋼管事業統合・再編) 自動車用ステンレス電縫鋼管事業の日鉄住金鋼管(株)への集約 TIG溶接鋼管・レーザー溶接鋼管の製造・販売に関する事業の統合(日鉄住金ステンレス鋼管(株)及び 日新製鋼ステンレス鋼管(株)の統合)

新日鐵住金株式会社

コード番号 5401 上場取引所 東京、名古屋、札幌、福岡

問合せ先 責任者役職名 広報センター所長

氏 名 大西 史哲

TEL (03)6867-2130

<2019年3月期 第3四半期決算 補足情報>

[全国]

1. 粗鋼生産量

単位:万トン

	前期			当期			年度
	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	
2017年度	2,609	2,594	5,204	2,639	2,641	5,280	10,484
2018年度	2,656	2,565	5,222	2,570	2,631程度 <sup>(※)</sup>	5,201程度	10,423程度

<sup>(※)</sup>経済産業省見通し

2. 在庫推移

	国内メーカー問屋在庫	(在庫率)	薄板三品：熱延+冷延+表面処理	ときわ会H形鋼
	万トン	%	万トン	万トン
2017. 1 末	560	(148.6)	389	18.6
2017. 2 末	564	(151.9)	388	20.0
2017. 3 末	537	(124.8)	380	20.1
2017. 4 末	554	(151.7)	388	19.7
2017. 5 末	578	(155.9)	409	19.7
2017. 6 末	556	(139.9)	401	19.3
2017. 7 末	542	(142.0)	395	18.9
2017. 8 末	566	(158.4)	414	17.9
2017. 9 末	570	(145.4)	416	18.2
2017.10 末	583	(150.1)	411	17.6
2017.11 末	566	(139.2)	400	17.3
2017.12 末	567	(149.2)	404	17.5
2018. 1 末	586	(157.5)	415	18.5
2018. 2 末	581	(154.4)	412	19.6
2018. 3 末	583	(140.8)	421	20.0
2018. 4 末	579	(145.8)	415	19.6
2018. 5 末	587	(150.1)	434	20.0
2018. 6 末	592	(149.3)	441	20.7
2018. 7 末	568	(143.1)	420	20.8
2018. 8 末	601	(170.5)	439	20.4
2018. 9 末	623	(176.6)	440	19.8
2018.10 末	587	(132.0)	426	18.4
2018.11 末	559	(133.8)	414	18.4
2018.12 末*	571	(149.2)	417	18.7

\*2018.12 末は速報値

〔当社〕

## 3. 出銑量（当社＋北海製鉄＋日鉄住金鋼鉄和歌山（※1））

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	992	1,013	2,005	1,008	1,049	2,057	4,061
2018年度	1,025	1,024	2,049	1,024	1,050程度	2,070程度	4,120程度

## 4. 粗鋼生産量

【連結ベース】 当社＋連結子会社

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	1,149	1,174	2,323	1,172	1,207	2,379	4,702
2018年度	1,189	1,176	2,365	1,213	1,240程度	2,450程度	4,820程度

【参考：単独ベース】 当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山（※1）

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	990	1,019	2,009	1,008	1,050	2,058	4,067
2018年度	1,029	1,021	2,050	1,029	1,050程度	2,080程度	4,130程度

## 5. 鋼材出荷量（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山（※1））

単位：万トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	934	939	1,872	939	967	1,907	3,779
2018年度	957	899	1,856	992	970程度	1,960程度	3,810程度

## 6. 鋼材平均価格（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山（※1））

単位：千円/トン

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	84.0	83.0	83.5	86.0	85.7	85.8	84.7
2018年度	87.2	90.2	88.7	91.5	90程度	90程度	89程度

## 7. 鋼材輸出比率（金額ベース）（当社＋日鉄住金鋼鉄和歌山（※1））

単位：%

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	42	41	42	41	41	41	41
2018年度	41	41	41	40	37程度	39程度	40程度

## 8. 為替レート

単位：円/\$

	第1四半期	第2四半期	上期	第3四半期	第4四半期	下期	年度
2017年度	111	111	111	113	110	111	111
2018年度	108	111	109	113	110程度	112程度	111程度

9. 設備投資額（工事ベース）及び減価償却費  
【連結ベース】

単位:億円

	設備投資額	減価償却費
2017年度	4,119	3,407
2018年度 <sup>(※2)</sup>	4,400程度	4,200程度

(※1) 日鉄住金鋼鉄和歌山は2018年4月1日をもって当社に吸収合併されている。

(※2) IFRS移行影響等含む。

以 上